



Convano

2023年3月期 第2四半期決算説明資料
証券コード 6574

2023年3月期 2Q決算概要

前年2Q比

2023年3月期
2Q(4-9月)

● 売上収益	1,105百万円	▲0.2%
● 営業利益	▲49百万円	-
● 四半期利益	▲52百万円	-
● EBITDA	71百万円	▲69.1%

Business & Topics

- 名古屋市西区にFASTNAIL mozoワンダーシティ店をオープン
- フットネイルや角質ケア等の夏季メニューと、新パーツの導入による顧客単価の上昇
- コロナ第7波の影響により、需要回復の遅れと従業員の感染等による欠員が発生
- 一部店舗において、人員不足による臨時休業の実施

PLサマリ(累計)

雇用維持及び、採用活動再開に伴う人件費の上昇と、採用教育コストの増加並びに助成金の減少により、前年同期比で減益となった

(百万円)

	2022年3月期 (2Q実績)	2023年3月期 (2Q実績)	対前年同期比 増減率
売上収益	1,107	1,105	▲0.2%
売上原価	704	695	▲1.3%
売上総利益	403	410	+1.8%
販売費及び一般管理費	375	460	+22.8%
助成金・その他	86	1	▲99.1%
営業利益	114	▲49	-
税引前利益	111	▲52	-
四半期利益	74	▲52	-
EPS (円) (希薄化後)	32.69 (32.60)	▲23.05 (▲23.05)	
EBITDA	230	71	▲69.1%

※上記指標は、国際会計基準(IFRS)により作成しております。

PLサマリ(会計)

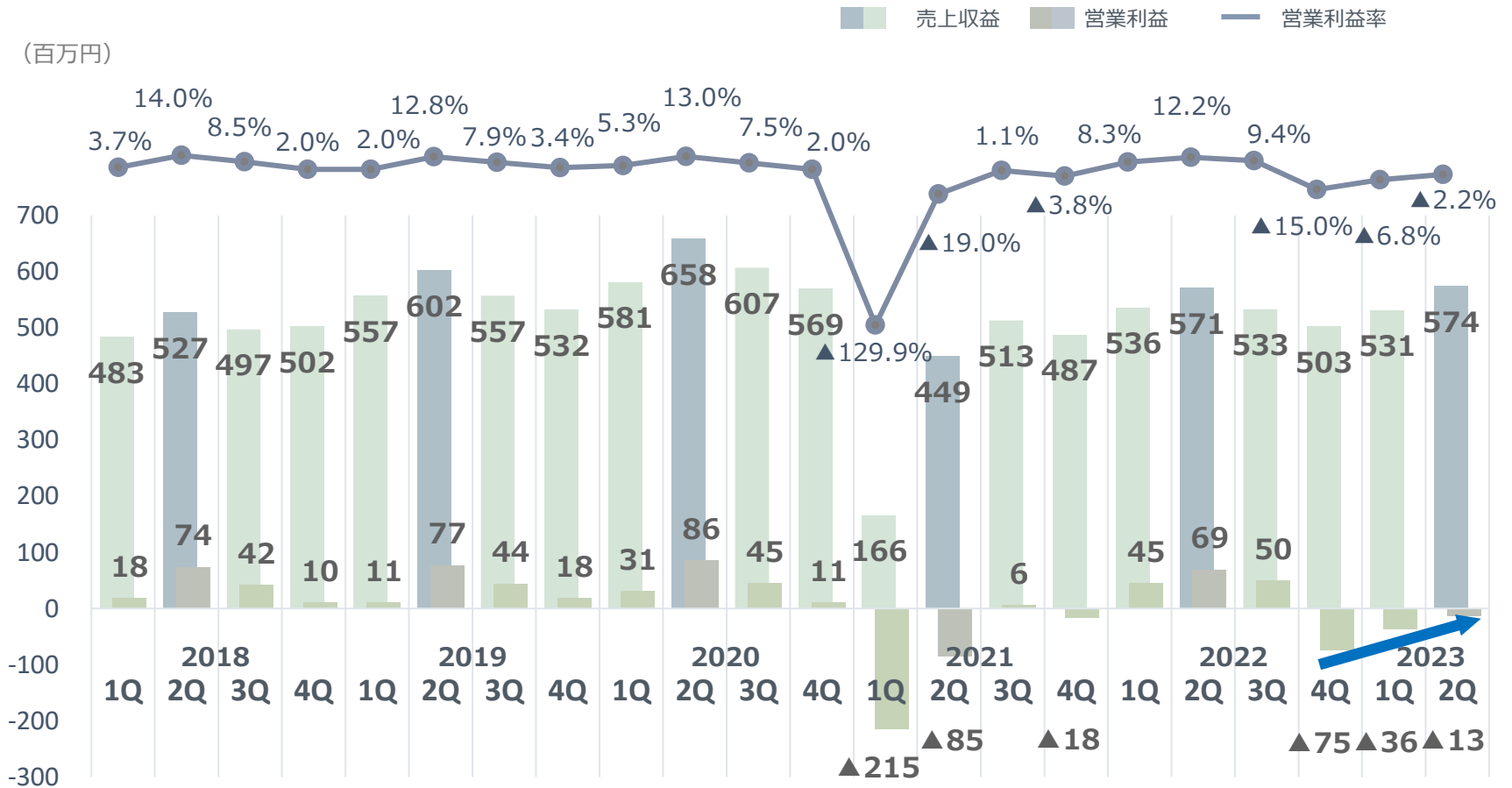
コロナ第7波の影響により、需要回復の遅れと従業員の感染等による欠員が発生した為、売上収益の回復が鈍化した

(百万円)

	2022年3月期 (2Q実績)	2023年3月期 (2Q実績)	対前年同期比 増減率
売上収益	571	574	+0.5%
売上原価	356	353	▲1.0%
売上総利益	215	221	+3.1%
販売費及び一般管理費	181	236	+30.2%
助成金・その他	36	1	▲96.9%
営業利益	69	▲13	-
税引前利益	68	▲15	-
四半期利益	45	▲15	-
EPS (円) (希薄化後)	19.99 (19.94)	▲6.49 (▲6.49)	
EBITDA	127	47	▲63.2%

※上記指標は、国際会計基準(IFRS)により作成しております。

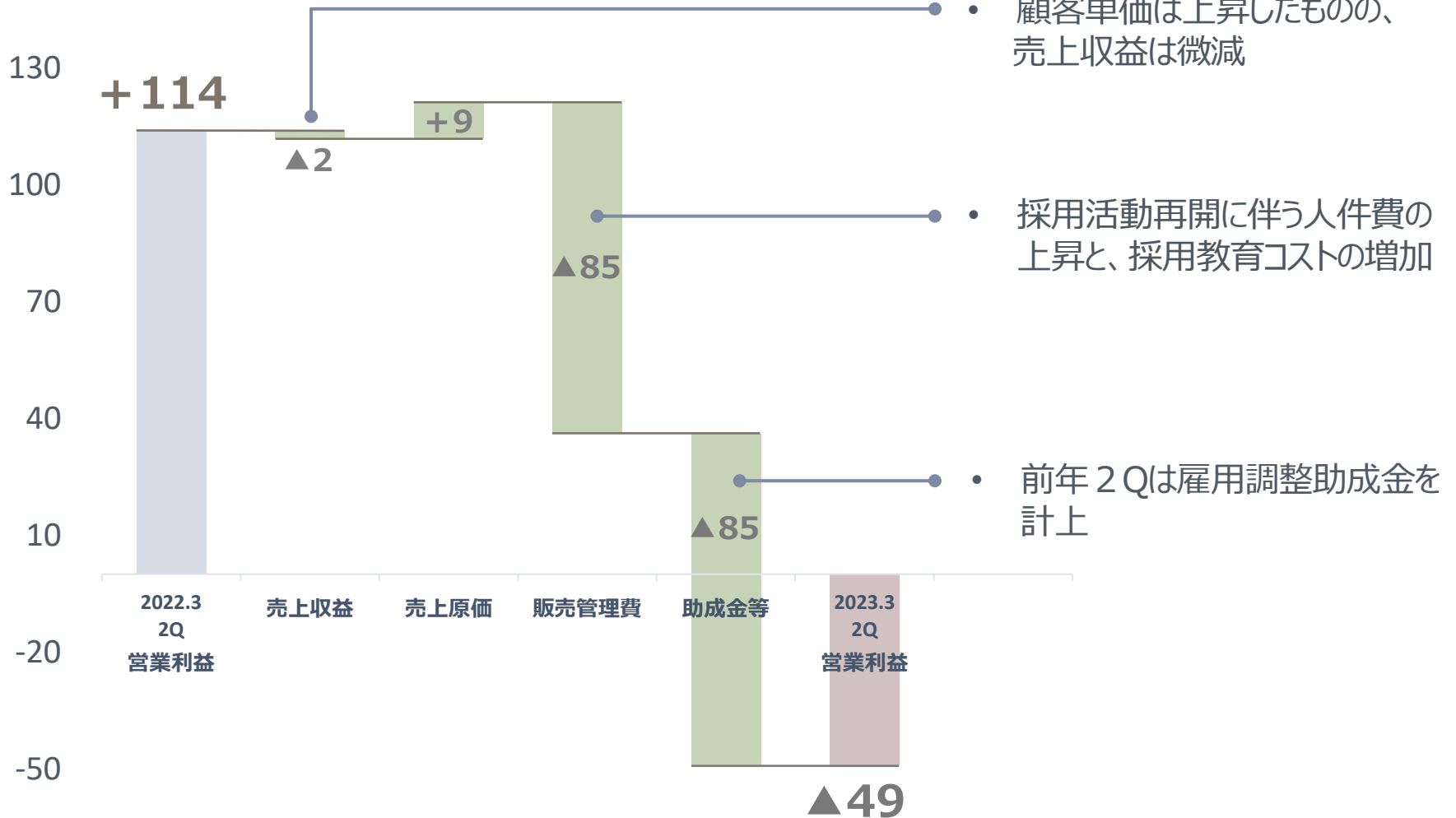
売上収益、営業利益/率の四半期推移(会計)



※上記指標は、国際会計基準(IFRS)により作成しております。

営業利益増減分析(累計)

(百万円)



※上記指標は、国際会計基準(IFRS)により作成しております。

BSサマリ

(百万円)

	2022.3期	2023.3期 2Q	増減額		2022.3期	2023.3期 2Q	増減額
流動資産	591	598	+7	流動負債	1,170	1,222	+52
現預金	393	390	▲2	営業債務及び その他の債務	54	57	+3
営業債権及び その他の債権	110	102	▲7	借入金	630	780	+150
棚卸資産	70	80	+10	リース負債	158	151	▲7
その他	18	25	+6	その他	328	234	▲94
非流動資産	1,832	1,843	+11	非流動負債	405	421	+17
有形固定資産	70	70	▲0	借入金	200	200	-
使用権資産	300	317	+17	リース負債	145	163	+18
のれん	650	650	-	その他	60	59	▲1
無形資産	560	553	▲7	負債合計	1,575	1,644	69
その他	251	253	+1	資本	848	797	▲52
資産合計	2,423	2,440	+17	資本金	51	51	+0
				資本剰余金	3	3	+0
				利益剰余金 /その他	795	743	▲52
				負債及び資本合計	2,423	2,440	+17

※上記指標は、国際会計基準(IFRS)により作成しております。

キャッシュ・フロー計算書

税引前四半期損失の計上により、営業キャッシュ・フローはマイナスとなった

(百万円)

	2022.3期 2Q	2023.3期 2Q	増減額
営業キャッシュ・フロー	146	▲33	▲179
投資キャッシュ・フロー	▲56	▲21	+35
財務キャッシュ・フロー	▲137	52	+189
増減額	▲47	▲2	+44
期首残高	365	393	+28
期末残高	318	390	+72

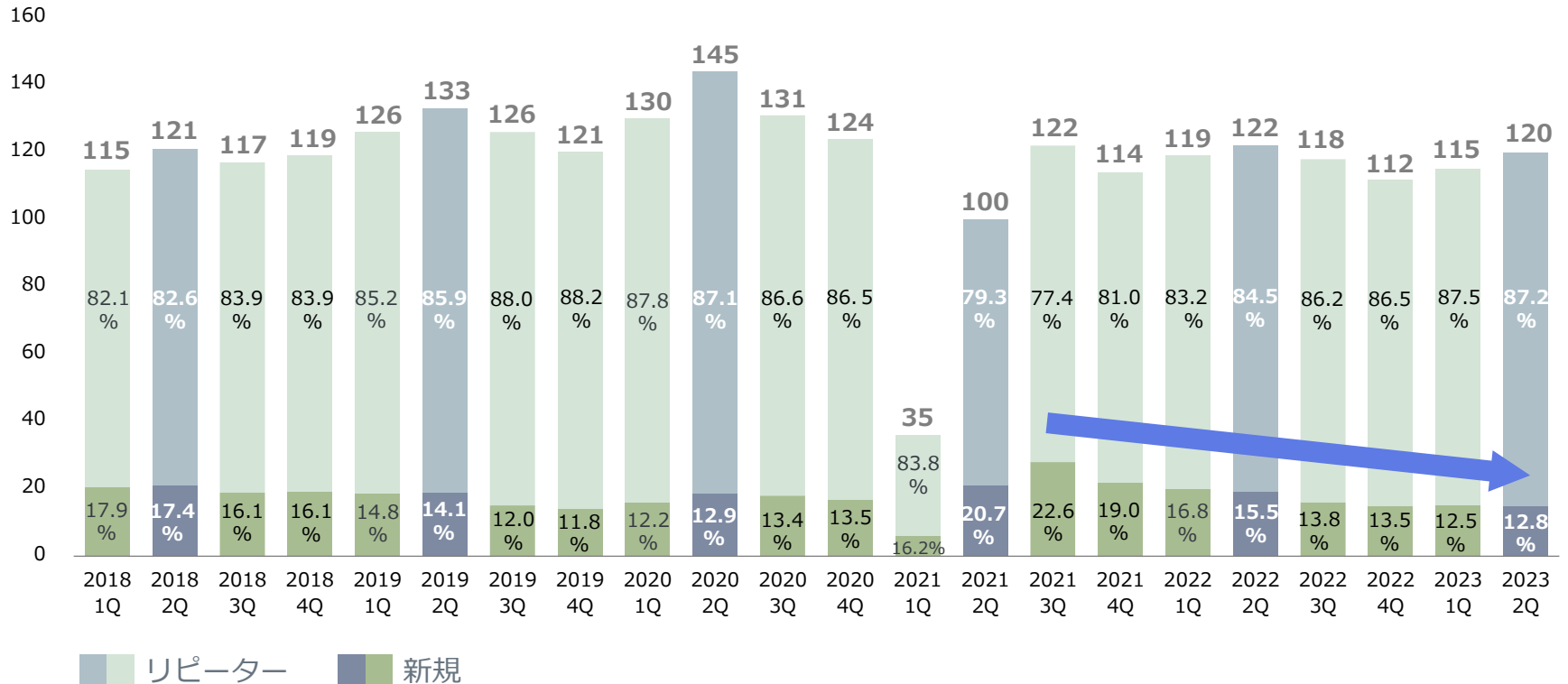
※上記指標は、国際会計基準(IFRS)により作成しております。

来店客数、新規・リピーター比率の推移

来店客数

2022/2Q 12万2千人

2023/2Q 12万人

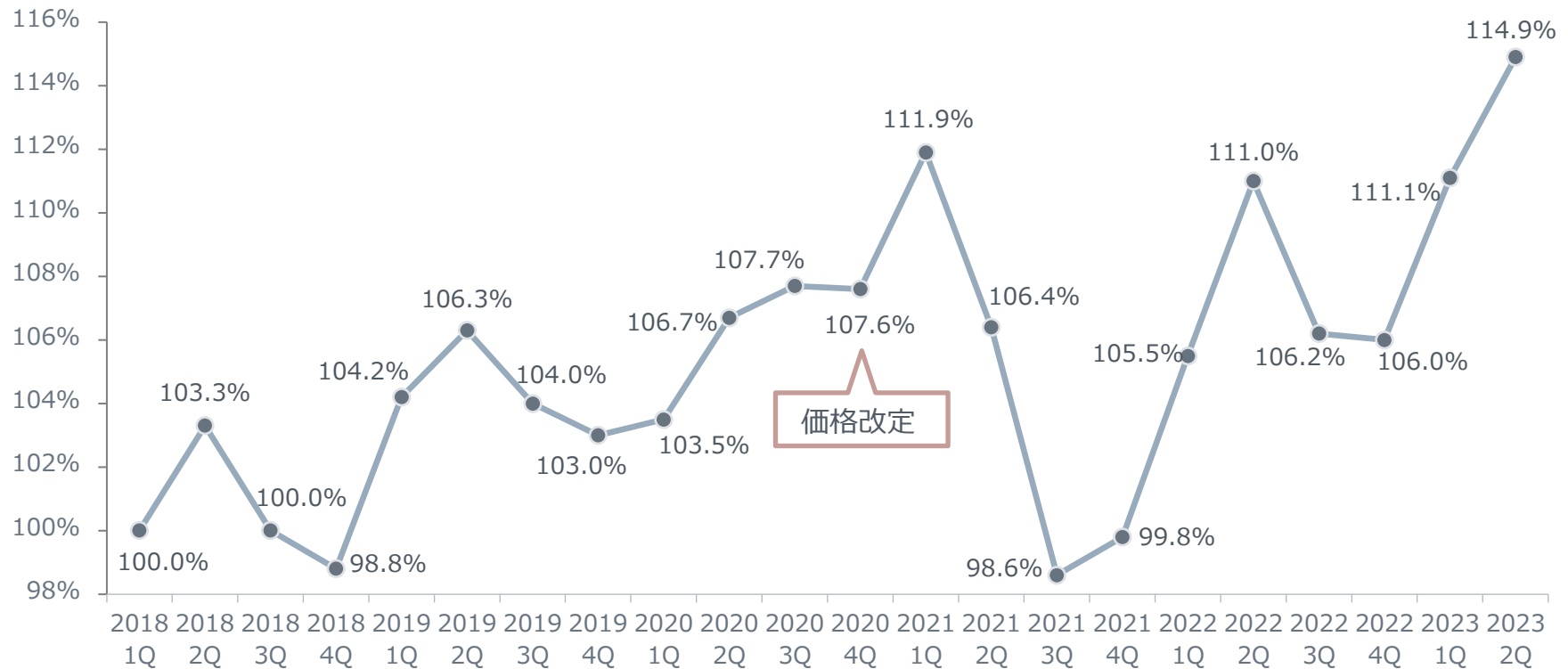


※ 上記指標は、POSデータに基づいて作成しております。
 ※ ファストネイル全ブランド・全店舗（FC含む）の合計の数値となっております。

平均顧客単価の推移

前期に引き続き、リピーター顧客の比率上昇や、高単価デザインの継続リリース、フットネイル等の夏季メニューの需要拡大により、平均顧客単価は過去最高まで上昇した

2018年1Qを100%とした指標



店舗の状況

2022年9月末時点の店舗数は64店舗

テラスモール湘南店

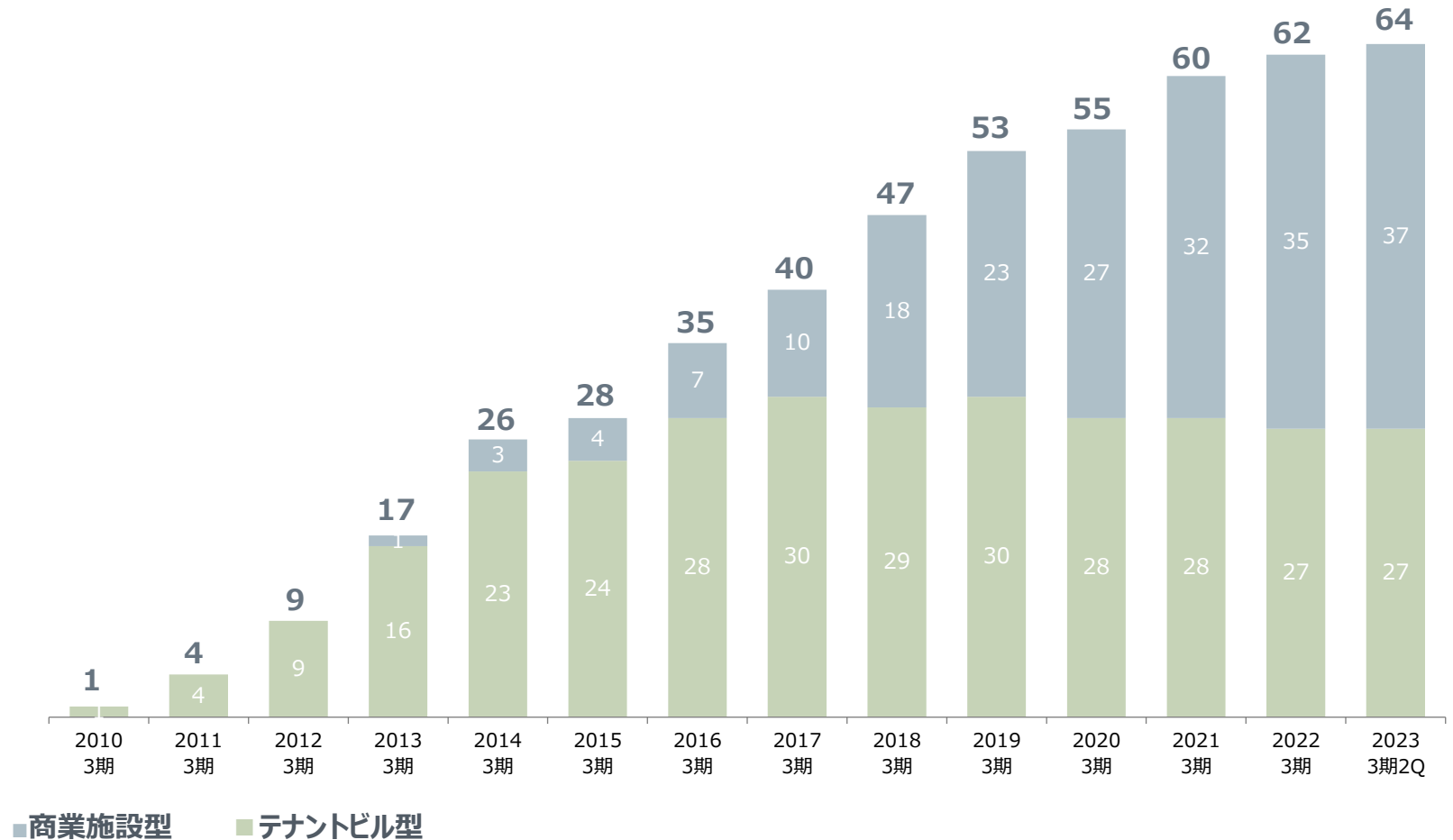


mozoワンダーシティ店



- ・ 名古屋市内の大型商業施設「mozoワンダーシティ」に直営店を出店
- ・ ビジュアルポスターの起用で、ビジビリティおよびブランド認知度の向上を狙う
- ・ なんばウォーク店(大阪市中央区) 2022年12月22日 OPEN予定

店舗数推移



※ 2022年9月末現在

© Convano Inc. All rights Reserved.

2023年3月期 業績見通しと取り組み

通期業績見通しと進捗

- 当第2四半期連結累計期間の業績は、店舗スタッフの人員不足により一部店舗で臨時休業を実施したことが影響し、営業利益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は赤字となっております
- 積極的な採用・教育による人員不足の解消、全国旅行支援等による人流増加に伴うネイル需要の回復、10月より実施した価格改定の効果などが期待できることから、当連結会計年度の通期連結業績予想は2022年5月12日の公表数値を据え置きます

(百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	2023年3月期 (2Q進捗)	進捗率
売上収益	2,143	2,350	1,105	47.0%
営業利益	89	140	▲49	-
税引前利益	82	135	▲52	-
四半期・当期利益	51	90	▲52	-
EPS (円)	22.52	39.68	▲23.05	-

□ 採用強化と人材育成の推進

- ・コロナ禍収束後の業績拡大と需要を見据えた人員確保
- ・人材育成の推進により需要増への対応及び、リピーター顧客の離脱を低減

⇒ 2022年度新卒20名入社
メンター制度の導入、現地研修等の教育プログラムの変更
2023年度新卒採用に向け、積極的なインターンの実施や、
大学訪問および学生向けの説明会を開催

□ 集客力のあるデザインやメニューの開発

- ・季節やトレンドに合ったカラー・資材等を導入
- ・顧客単価の上昇につながるプロモーションなど

⇒ 店舗勤務スタッフによるネイルデザインコンペティションを開催
トレンド性のあるデザインの継続導入
SNSの活用や時間帯限定クーポンの導入

□ 従業員満足度の向上

- ・働きがいのある職場の環境づくり

⇒雇用区分の変更や給与水準の見直しを実施
従業員持株会制度の導入



□ 厳選した優良物件への出店

⇒4月にテラスモール湘南店をOPEN
9月に名古屋市西区にmozoワンダーシティ店をOPEN
大阪府中央区になんばウォーク店をOPEN予定

FASTNAIL mozoワンダーシティ店



質疑応答

- 新規顧客率の低下の要因は何か
- 従業員の充足はいつ完了するのか、離職対策などはあるか
- 人員不足なのに新店を出店しているのは何故か
- 今後売上などの経営数字を月次で公表してほしいが、それは可能か



Convano

2023年3月期 第2四半期決算説明資料
証券コード 6574